



2012.8.5

No. 223

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)  
1996年3月4日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村良平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 2013年度政府予算に関する中央要請

### 小宮山厚生労働大臣らに雇用の安定・創出など要請

連合北海道は7月26日、小宮山厚生労働大臣らに職場や地域実態に基づく2013年度政府予算に関する「要求と提言」の中央要請を行った。

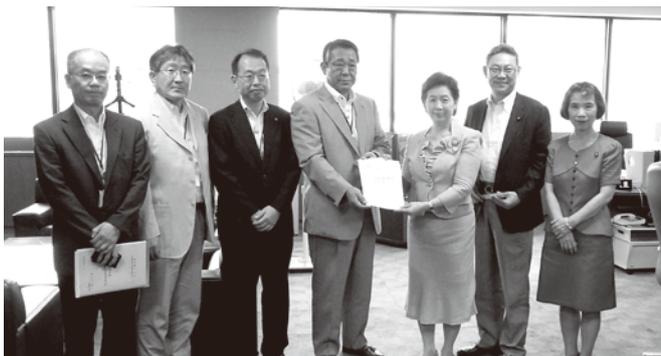
政府予算に関する要求と提言は雇用の安定・創出、北海道の資源を活かしたエネルギー・環境政策の推進をはじめとして101項目からなり、26日の中央要請行動では特に重要性和緊急性が高いと判断した21項目を重点要望として絞り込み、関係する厚生労働省、国土交通省、経済産業省、環境省を訪問し「要求と提言」の実現を求めた。なお、国土交通省、経済産業省については国会審議が入ったため、急遽、要請書の手交のみとなった。

また、当日朝には省庁要請に先がけて連合北海道国会議員団会議を開催し、国会議員らに「要求と提言」を説明し、実現に向けた協力を要請した。

#### ■厚生労働省

##### —最低賃金に関する中小企業支援策の見直し、雇用創出基金事業の継続を要請—

厚生労働省では小川勝也参議、山崎摩耶衆議に同行いただき、最低賃金の引き上げに伴う「中小企業最低賃金引き上げ支援対策費補助金」の支給要件の緩和や制度の見直し、雇用創出基金事業の継続、地域医療再生基金事業の検証と課題解決のための措置等の重点要望について小宮山厚生労働大臣に説明し、理解と実現を求めた。また、季節労働者対策に関する建設業退職共済の受給資格要件の改善についても検討するよう要請した。



特に現在、地域最低賃金の改定作業がすすめられているが、生活保護費とのかい離解消と非正規労働者の賃金・処遇改善を図ることからも大幅な最賃額の引き上げが必要となっている。一方で引き上げに伴う中小企業の支援も課題とされている。現在の「中小企業最低賃金引き上げ支援対策費補助金」は最低賃金額が700円に達するまでを対象としており、生活保護費とのかい離が30円あり、705円となっている北海道では活用することができない問題点が指摘されている。小宮山大臣は、「執行状況を見ながら、必要な見直し等を検討する」と答えた。

また、地域の雇用創出に大きな成果を上げている雇用創出基金については、「雇用創出基金事業の内、震災等緊急雇用対応事業については、北海道への交付額54.6億円をはじめ予算の積み増し(2千億円)をした上で、実施期間を平成25年度末まで延長することとしている」と述べると共に、「地域の特性を生かした実践型地域雇用創造事業を実施しており、雇用の創出に活用してほしい」と述べた。

経済対策と地域医療の立て直しを目的として実施されている地域医療再生基金事業の検証については「有識者会議で実績、成果を検証し、必要な助言、フォローをしていきたい。今後は予算の積み増しは考えていないが、検証した上で、必要な対応について考えていきたい」と答えた。

#### ■環境省

##### —原子力発電所の安全確保・住民合意、原子力防災の拡充を求め—

新たな原子力規制行政を所管する環境省要請では小川参議、山岡達丸衆議も同席し、6月に連合北海道エネルギー・環境政策委員会でまとめた「中間整理」に基づき、停止中原発の運転再開を検討する際の条件として、より高度な安全基準の設定と安全対策の実施や的確な住民避難に欠かせない緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI)の機動的な運用、市町村における原子力防災計画の策定や見直しに伴う人的、物的、財政的支援を求めた。

対応した高山政務官は「再稼働にあたってはこれまでの安全基準に加えてストレステストを実施し、より厳しい条件、周辺自治体を含めた意見を聞いた上で判断していきたい」と述べた。

原子力防災計画の見直しに関しては、「当然、人的、財政的支援を含めて見直しと策定をすすめていく」と述べ、「策定する自治体関係者の意見を聞くというプロセスは大事になるし、信頼関係がなければ進めることはできない」との考えを示した。

また、意見交換の中では小川参議や坪田総合政策局長から、建設が中断している大間原発に関して、「30km圏内の道南地域の声も踏まえて判断してほしい」と要請した。



〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012072601\\_seifuyosan.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012072601_seifuyosan.html)

## 最賃大幅引き上げへ労働局前集会で決起

審議会会長・道経協への要請を実施

気温30度を超える猛暑のなか、7月26日12時20分より、第1合同庁舎正面玄関前で「北海道地域最賃の大幅引き上げを求める労働局前集會」を開催し、100名近い各産別の仲間たちが駆け付けた。

この集會は、25日未明、中央最低賃金審議会で、今年の「目安」が出されたことを受け、北海道における今年の闘いがいよいよ本格化するため、連合北海道は、生活保護とのかい離解消と併せて、1,000円の要求実現に向けて意思統一を固めるものである。

集會では、佐藤泰光最賃対策委員長が、「昨日出された目安の10～15円では、改正最賃法という『健康で文化的な生活』水準にはほど遠い。北海道最賃は1,000円以上に引き上げるべきである」と主催者あいさつし、続いて、渡辺副事務局長（最賃審議会労働側委員）より、中央最賃の審議経過と道民世論の喚起に向けた行動展開等について報告があった。また、パート労働者の決意表明では、最低賃金の影響が大きいパート労働者を多く擁するサービス連合の和気さんから「過酷な労働環境の中で、時給705円で働き、生活保護水準より30円低いのは何故か。人間らしい生活を求めて格差解消に向けて、連合北海道とともに闘う」と力強く表明があった。引き続き、青年委員会牧野委員長より、第1合同庁舎（労働局）に向かって、シュプレヒコールを実施、最後は佐藤副会長の発声による団結ガンバローで集會を締めた。

集會のあと、第3回最賃対策委員会を全日通会館で開催したのち、北海道最賃審議会会長及び北海道経営者協会に対する要請行動を最賃対策委員会メンバーで実施した。本年度で生活保護費とのかい離解消を図るとともに、雇用戦略対話合意の800円、1,000円改定への道筋を付けるよう要請した。

### 「中賃」目安でる

—生活保護とのかい離解消には不本意な目安—

中央最低賃金審議会（中賃）は、7月25日に各都道府県



最賃の目安について答申を行った。

引き上げ額の目安は、Aランク5円、B・C・Dランク各4円とし、生活保護水準とのかい離がある11都道府県は原則2年以内に解消する、と示された。北海道のかい離30円は、2年で解消方向としつつ、その金額については、10～15円の幅で示されるという分かりづらい目安であるが、地方審議会の議論にあずけられた。

連合北海道は、このような目安では貧困の解消につながらず、経済的に自立した賃金が実現できないと考える。1,000円改正を目標としつつ、本年度で生活保護費とのかい離解消を図るよう求める。

最低賃金についてのご意見を連合北海道最賃対策委員会までお知らせ下さい。

TEL011-210-0050 FAX011-272-2255

メールは

organization@rengo-hokkaido.gr.jp まで

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/spring/2012072602\\_minimumwage3.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/spring/2012072602_minimumwage3.html)

## 第50回地方委員会を開催

春闘中間まとめ、選挙関係、エネルギー・環境政策委中間整理で意見交換

連合北海道は6月25日、札幌市内で第50回地方委員会を開催し、春季生活闘争の中間まとめや衆議院選挙・参議院選挙の取り組みについて議論・確認した。また、昨年の福島原発事故を契機に、①将来的な「脱原発」に向けた課題や論点の整理、原子力発電の安全確保や防災体制ならびにエネルギー政策の見直しに向けた共通認識の拡大、②原子力防災の充実や「北海道省エネ・新エネ促進条例」の具体化に向けた政策提言の策定を目的に議論を続けているエネルギー・環境政策委員会の現段階までの状況を報告した。

冒頭の挨拶で工藤連合北海道会長は、前日に社会保障と税の一体改革法案が衆議院で可決されたことにふれ、「先送りした課題もある。一体改革で目指した抜本改革を行い、持続可能な制度に道筋をつけて欲しい」と述べた。



さらに、政治関係では、「民主党への失望感が大きくなっているが、政権交代した意義、歴史の歯車を逆戻りさせてはならない」「与党としての覚悟と責任を持ち、国民の生活が第一の政策に全力を挙げるべき」と、民主党に訴えた。

これに対し、来賓として出席していた岡田民主党北海道幹事長は、「次の選挙も連合との信頼関係を強固にして勝ち抜く」と、連合北海道との変わらぬ連携を組合員にお願いした。

その後、議案等の提案・質疑が行われ、自治労・北教組・電力総連・渡島地協からそれぞれ意見が出されたが、提案どおり議案が確認され、最後に、井田副会長の音頭で団結ガンバローを三唱して地方委員会を終了した。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012062703\\_50chihou.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012062703_50chihou.html)



## 第7回北海道中小労働者研修・交流集会開催

中小労組から過去最多85名が参加し2日間にわたり学習

連合北海道中小・パート労働条件委員会は6月30日（土）～7月1日（日）、北見で第7回北海道中小労働者研修・交流集会を開催した。

集会は全道各地から過去最多の85名の中小労組の組合員が参加し、3つの講義と参加組合や地域からの報告を受けた。

第一講義は、連合北海道組織労働局・千田次長による「中小職場における賃金交渉」と題して、賃金カーブや春闘の交渉の手順について学んだ。

第二講義は、連合本部生活福祉局・伊藤局長から「中小企業にとっての社会保障と税の一体改革」と題して、現在の社会保障の課題や財源の必要性、連合の社会保障と税の一体改革の考え方を学んだ。会場から質問も出る中、社会保障を厚くしつつ所得税や消費税などを上げないという両立の選択はないこと、2025年には人口の3割が高齢化となる中、連合が目指す「新21世紀社会保障ビジョン」と「第3次税制改革基本大綱」の実現に向けて今

後も与野党に働きかけていくことが報告された。

その後、参加地域からの報告をはさんで、第三講義は、東京農業大学（オホーツクキャンパス）の山田哲講師から、「改正労働者派遣法とその課題」と題して、禁じられていた有償の労働者供給が派遣法の成立で合法化され、その後の数度の法改正で徐々に規制緩和されてきた経緯と、派遣元・派遣先・労働者の三者関係での労働契約の仕組みを学習した。今回の法改正は、緩んだ事業規制を強化する動きではあるものの、派遣労働者保護の実効が出てくるかを今後も注意深く見守る必要があることが述べられた。

2日目の「地域中小組合からの事例発表」では、6つの組合から今春闘における団体交渉経過や妥結報告があった。参加者からの報告や懇親会を通じて、中小組合相互の状況把握や近隣地域の組合員同士の交流が計られた。6年前に第1回を帯広から始めたこの集會も、今回の北見開催をもって中小労組を組織している7つの地区を一巡した。

来年以降の開催の在り方（開催地も含め）等を尋ねた「集会アンケート」の結果を基に、今後の開催に関しては中小・パート労働条件委員会で議論することとした。連合北海道・渡辺副事務局長からの総括の後、中小パー

ト労働条件委員会・森委員長の団結ガンバローで会を閉じた。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012063001\\_chusho.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012063001_chusho.html)



## 老いて益々元気！！

### 函館退職者連合が街頭署名とカンパを実施

6月30日(土)12時。函館市-本町交差点(五稜郭交差点)に函館高齢者退職者連合の30名近い会員が集まり、街頭宣伝とチラシ・ティッシュペーパーの配布が行われた。

今回の街頭宣伝は、核兵器の廃絶と平和な世界の実現を目指すため、「高校生平和大使」を国連に派遣する取組みに、北海道から積極的な派遣を行っていくことを主たる目的に、全道的な取り組みの一環として署名とカンパ活動を行った。

好天に恵まれた当日、集合時間前には多くの会員が集まり、事務局側が予定時間を繰り上げて開始。車上では函館高退連・三浦行男会長の司会で道議会議員2人と市議会議員3名が交互にマイクを持ち、道行く人に訴えを行う傍らで、高退連会員が署名とカンパに対する協力要請を行っていた。

余りの好天に日中の行動を避けているのか、この日の人の流れは従来に比して芳しくなく、思うように署名もカンパも集まらず会員は猛暑の中で悪戦苦闘。

それでも、1時間でほぼ予定されたチラシとティッシュは完配し、署名は100筆程度であったが、13,700円のカンパも



集まり、行動に参加した各会員の顔には満足感も漂っていたように思われる。

今回の行動は、高退連独自の行動として行ったものであり、孫やひ孫の世代へ対する強い思いもあり、現職の手を借りず、事前準備から実践まで行われた姿は、さすがは現職時代の活動家であり、正に「老いて益々盛ん!」と評されるものでもあった。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012063002\\_oshima\\_retire.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012063002_oshima_retire.html)



#### 8月の主な動き

- 平和行動in広島・長崎  
4日(土)～10日(金) / 広島市・長崎市
- 2013年度道への「要求と提言」提出  
22日(水) 14:00 / 道庁・知事会議室
- 北海道高齢者の集い  
23日(木) 13:00 / かでる2・7
- 第11回中央執行委員会  
23日(木) 13:30 / 東京・連合会館
- 幌延事業説明会  
23日(木) 15:00 / 連合北海道会議室
- 泊原発3号機視察  
24日(金) / 泊村

#### イベントカレンダー

- 連合東北ブロック交流会  
26日(日) / 岩手県
- 第11回執行委員会  
29日(水) 10:30 / 連合北海道会議室
- 地協事務局長会議  
30日(木) 16:00 / 連合北海道会議室
- 地協専従者懇  
31日(金)～8月1日(土) / 日高地協

連合北海道お盆休みのお知らせ  
下記日程をお盆休みとさせていただきます。  
8月14日(火)～16日(木)

#### 毎回好評の組合員特別優待クーポン誌

# ゆはぽん

道内のアミューズメント、ホテルなどが特別価格で利用できます。

夏休み版  
好評配布中!

<http://www.crews.ne.jp/rengo-natsu2012/index12natsu.html>